

アークフラッシュ施工された老人施設からは6年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

<<通販開始>> <http://homepage2.nifty.com/arc-clean/>

< ** > <http://www.arc-flash.co.jp> **新着施工写真を更新いたしました**

<<シックハウス情報>>

旭川市役所に対してアークフラッシュインダストリーは再三に渡り、市に対して状態の確認と改善を提案してきたが、悉く排除されていた結果が下記の通りとなった

北海道旭川市の女性保健師4人が2001年、市庁舎の改修工事でシックハウス症候群になったとして公務災害を申請した問題で、地方公務員災害補償基金北海道支部審査会が公務災害と認定していたことが18日、分かった。同基金(東京)によると、シックハウス症候群での認定は極めて異例という。

旭川市によると、2000年から01年にかけて、庁舎の壁や天井を張り替える改修工事を実施した。4人は目やのどの痛みなどシックハウス症候群とみられる症状を訴えて休職し、01年4月に公務災害を申請。同基金北海道支部は04年8月、「本人の体質が原因」として公務外と判断したため、4人が審査会に不服を申し立てていた

役人よ！！前例が無いなどと言う言い訳はもう通用しない時代になった事を認識せよ

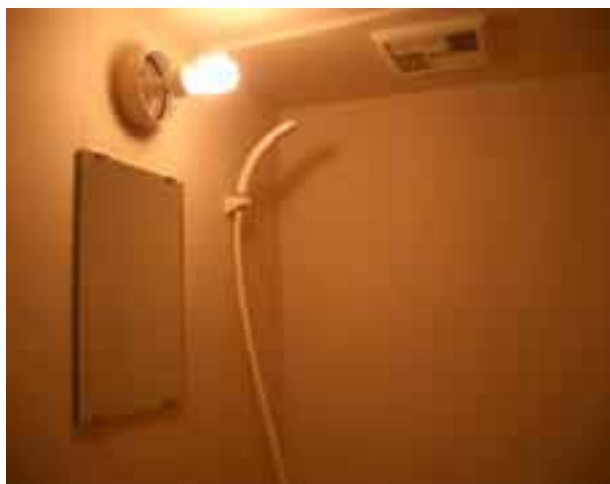
<<インフルエンザ情報>>

新華社電によると、高病原性鳥インフルエンザ(H5N1型)に感染した中国湖北省出身の男性(21)が19日、死亡した。これで中国国内での感染者は計17人となり、うち12人が死亡している。また、遼寧省では新たに鳥インフルエンザに感染した野鳥2羽の死が確認され、依然として感染拡大に歯止めがかかっていない実態が明らかになった。中国衛生省の担当官は、わが国では1000万人程度の死亡ではビクともしないとの談話を発表した。人権錯誤も甚だしい

中国新華社は20日、同国中部・湖北省の男性が鳥インフルエンザH5N1型の感染により死亡した、と報じた。H5N1型による同国での死者は、これで12人となった。世界保健機構(WHO)は男性の死因について確認は取れていないとし、「調査中」と述べている。

新華社が伝えた地元保健当局者からの情報によると、死亡したのは21歳の警備員の男性で、1日ごろから肺炎のような症状があったという。

中国衛生省は18日、この男性がH5N1型ウイルスに感染していることを確認。国内での感染者としては17人目となった



今までは、市販の蛍光球をつけて反応を促進させていました。
その成果として一度も掃除していないユニットバスにもかかわらず、
カビ1つ生えていません。(アーク加工から1年8ヶ月)
4月末に、開発商品の蛍光球に替え、まず AM4:30 に換気扇を止めた状態でタバコを2
本吸い電気をつけて締め切りにし、AM8:00 にトイレに入ったときには、タバコの臭いは
全くしませんでした。
(以前は臭いが消えるまで、1日は必要でした。)
また、現在、表現が出来ないほどこのスペースが心地よい空気に変わったことが、アーク
フラッシュ効果の聞き方の違いを、まざまざと実感させられました。

H18年5月3日

< 施工報告 >

オーナーの高橋さんは、H18:ゴールデンウィーク明けにオープンさせるお店を、ショット
バーではめずらしい、『禁煙のお店』にする計画です。喫煙者のためには、正面の小部
屋を喫煙コーナーとして用意し、店内にタバコの煙と臭いが無いお店にしたいと言うこと
で、アークフラッシュを以前から興味を持って調べて下さっていました。
この日は、クロスが張り終えた段階で、カウンター内や便器を設置する前のトイレと言っ
た、冷蔵庫・流し・製氷機が搬入されてしまうと、施工できない部分を『1工程』として加工
してきました。28日以降、家具・照明・エアコン・食器棚等、設置後に『2工程』を行いま
す。さすが、以前から計画していたとあって、『完全施工計画』が完璧に準備されていま
した。 横浜市中区関内すぐそば

* 発行責任者: 株式会社アークフラッシュ本部

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 honbu@arc-flash.com

1号～44号までを配信希望の方はメールにて申込ください。